

あらすじ・登場キャラクター案

《あらすじ》

サムおやじは山を守っています。それは山を荒らしたり、汚したり、放置することによって大変な災害が起こることを知っているからです。また山の状況が悪くなると、川の水にも影響が出て、川に住んでいる生き物、利用している人々、海に住んでいる生き物たちにも影響が出るため日々環境問題に悩んでいます。

山には、自然の恵みが多くあります。春には山菜、秋にはキノコや木の実がたくさん採れます。また木を伐採して建築資材や燃料にも出れます。しかし、未永く恵みをいただくためには、木を伐採した後に新たに木を植え、大切に守る必要があるのです。

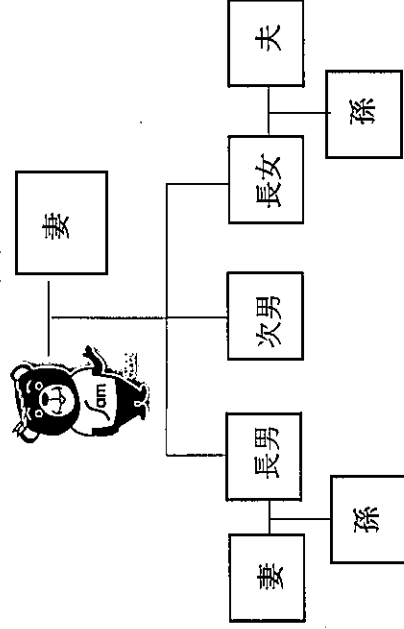
サムおやじには奥さん（サムばあや）と子供が3人、孫が2人います。子供たちは山を出て暮らしていて、現在は夫婦で山暮らしをしています。将来は、子供たちが自分に変わって山を守って欲しいと考えていますが、それぞれの暮らしがあることから悩んでいます。サムおやじの周りには沢山の友達がいます。山や川、海にも友達がいて、皆と環境について考えています。

《テーマ・趣旨》

登場人物は動物をメインとしていますが、現在社会問題化している空き家や、未管理不動産、家族の問題（相続など）をキャラクターも用いて子供たちに分かりやすく伝える事を目的としています。

《登場キャラクター案》

サムおやじ家系図



- ・山の仲間（シカ、リス、キツネ等）
- ・川の仲間（あゆ、サケ等）
- ・海の仲間（貝類、珊瑚礁、魚等）
- ・自然に悪影響（不法投棄、未管理等）